

平成19年2月6日

各位

上場会社名 株式会社アガスタ
(コード番号: 3330 東証マザーズ)
(URL <http://www.agasta.co.jp>)
本社所在地 東京都港区三田二丁目21番6号
代表者名 代表取締役社長 鈴木康二
問合せ先 取締役管理本部長 田中郁恵
TEL 03-5440-6226

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年8月10日に公表した平成19年6月期(平成18年7月1日～平成19年6月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年6月期中間業績予想の修正(平成18年7月1日～平成18年12月31日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,868	△40	△40
今回修正予想(B)	2,482	10	19
増減額(B-A)	614	50	59
増減率(%)	32.8	—	—
(ご参考) 前期実績(平成18年6月期)	5,798	△64	△69

2. 平成19年6月期通期業績予想の修正(平成18年7月1日～平成19年6月30日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,725	20	20
今回修正予想(B)	5,500	20	20
増減額(B-A)	775	0	0
増減率(%)	16.4	—	—
(ご参考) 前期実績(平成18年6月期)	5,798	△64	△69

3. 中間業績予想修正の理由

(1) 売上高

販売単価の高い東南アジア向けの販売において、前期発生した現地における輸入許可証発行遅延の影響を当期も想定していましたが、当期は順調に推移したことで同エリアにおいては販売台数が計画以上に推移し、売上高は予想を上回る見込みであります。

(2) 経常利益及び当期利益

① 東南アジア向けの売上高が順調に推移したことで当初計画の売上総利益を上回る結果になりました。さらに当期初より進めてまいりました外部委託コスト及び人件費の抑制などコスト削減が進捗し、販売管理費は当初計画を下回る結果となりました。

② 前事業年度末に貸倒引当金（9百万円）を計上しておりましたが、当期は売掛金の圧縮に注力した結果、貸倒引当金が減少し、その差額である約7百万円を貸倒引当金戻り益として計上いたしました。

以上の理由により経常利益・当期利益が予想を上回る見込みであります。

4. 通期業績予想修正の理由

当社では下期以降につきましても、通期黒字化に向けて東南アジアエリアにおける顧客の獲得に注力するとともにリスク管理を徹底して業務を進めてまいります。これに伴い、通期の業績予想については上期の業績及び以下の要因を勘案して修正いたします。

売上高につきましては、引き続き東南アジア向けの販売において順調に推移することが予想されます。一方、経常利益および当期利益につきましては、来期に向けての先行投資や内部管理統制整備等に伴うコストの発生による販売管理費の増加を見込んでおり、利益については当初発表どおりと致します。

以上の理由により平成18年8月10日に発表した平成19年6月期業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。